

## 平成30年度タウンミーティング会議録

期 日	平成30年6月20日(水) 19:00~20:40
会 場	大洗町漁村センター 研修室
対 象 者	農業・水産業・観光業、工業・建設業関係団体 (観光協会・観光ボランティア・商工会・漁協・仲買人組合・加工組合・漁業研究会・大澗沼漁協・農業委員会・水田担い手組合・認定農業者協議会・農地利用最適化推進委員・JA水戸大洗・土地改良区・給水装置工事組合・排水設備組合・飲食店組合・旅館組合・民宿組合・建設工業会・建設業協議会)
町 執 行 部	町長，町長公室長，まちづくり推進課長，生活環境課長，生活環境課生活環境係長
出 席 者	31名

- 町民：**
- ・リフォーム補助金については、補助金制度により町民の方がリフォームに取り組みやすい環境になり、これにより地元工務店の受注機会拡大に繋がるため、ぜひ継続して行ってほしい。
  - ・耐震工事補助金とリフォーム補助金の連携を図れば、空き家対策にもなるのではないか。

- 町長：**
- ・空き家対策については、本町にも空き家バンクが整備されているが、申請されることなく、そのままになっている空き家が多い。庁内で新たな班を作って、調査をして利活用について検討していきたい。
  - ・廃校の利活用についても、企業に呼びかけをしているところだが、なかなか手をあげるところがない。再度企業へヒアリングをして、官民一体となって早く利活用されるよう取り組む。
  - ・体験交流センターも老朽化が進んでおり、適切な管理をしていきたい。

- 町民：**
- ・漁港内の水質汚染・悪臭がひどい。臭いが消えるまで仕事をしないという漁業者もいる。そのような水がどこから流れてきているのかを調べて欲しい。

- 町長：**
- ・漁港内に流れこむ汚水がご迷惑をおかけしているケースがあり、町もその都度調査をしている。漁港だけでなく、川の近くに住む方からもそのような声をいただいている。町・県で協力して調査をし、できるだけ早く改善していきたい。
  - ・町の下水道整備もかなり進んだ。多くの方に下水道に繋いでもらえれば、悪臭・汚水問題も改善していくのだろう。

- ・また、企業からの排水については、前処理をしてから下水に繋いでもらえるよう、町が補助を出して取り組んだ経緯があるが、なかなか進展しなかった。再度取り組みを強めていく。
- ・観光の町としても、本問題についてはできるだけ早く改善していくよう取り組んでいく。

町民： ・インバウンドについては、観光協会としても多くの海外からの観光客を迎えたいと考えている。今は外国人観光客が大洗駅に到着した時にどこへどのように向かえば良いか分からないという状況である。案内板の整備を。  
また、外国人観光客を乗せた際のタクシードライバー等の対応の仕方についても協議をしていってほしい。

町長： ・既に指示をして取り組んでいるところ。多言語案内やWi-fiを設置したり、環境を充実させてインバウンドに対応していく。  
・地元の人分かるが、他から来た人は案内板がないことで道が分からないというケースがある。逐次指示して取り組んでいる。

町民： ・農業については、労働力が少ないのが一番の問題である。実習生にも限りがあり、後継者・担い手不足解消に何か対策を。

町長： ・担い手の確保には、安定的に年間通して働いてもらえる環境をどう作るかが問題。忙しい時だけ確保して、仕事がない時は解雇する、ということでは、なかなか進まない。多面的な機能を活かして、農産物の生産だけでなく、加工して販売するなど、様々な取り組みをすることで年間通して働くことのできる場になる。6次産業化で、通年販売できる商品の開発など、法人を立ち上げて取り組めば、若い人達も安心して安定的に働けて給料がしっかりもらえる。干しイモ作りと平行して年間通して何をやるか。旧旭村はどんどん商品化して売り込んでいる農家が増えている。本町もこれだけ観光客が来ているのに、意外に立ち上がっていかない。6次産業化に力を入れていただけるとありがたい。

町民： ・夕日の郷松川もだんだん知名度があがってきた。直売所、BBQ場、キャンプ場等があるが、近場の子供達が1日中遊べるような施設が作れないか。  
・廃校についてはなかなか買い手が見つからないとのことだが、町民に趣味の場・作業場として貸すことはできないか。

町長： ・夕日の郷松川については、整備もでき、客足も伸びてきた。より

活性化させるため、耕作放棄地になるエリアをもう少し拡大して、様々な施設・設備を整えるのもひとつかと思う。そういった取り組みをするのは、松川の協議会の皆さんに業として取り組んでもらいたいと考えている。

- ・いこいの村ひぬま、銚田市がこれから取り組む予定の施設、そして夕日の郷松川が連携すれば、観光的にも素晴らしい場所になり、大洗鹿島線の涸沼駅も生きてくる。
- ・総合運動公園の使用状況を見たところ、阿字ヶ浦の民宿の方々が使用する頻度が多く、合宿の際に本町の施設を使ってくれているようだ。また、先日のひぬま夏海マラソンの際にも田山選手から、コースについて高校・大学・実業団の合宿地の可能性について評価していただいた。
- ・また、原子力の人材育成も踏まえて利活用できないか検討している。
- ・中川調理学園に依頼して文化センターでさつまいもを使ったお菓子を作り、その後夏海の方々にも集会所でスイーツを作っていた経緯があるが、頓挫しているため、亀山文庫辺りでできないかと考えている。例えば、農家レストランや6次産業の場・加工場を整備して、そのつながりとして合宿所として展開できないか。
- ・いずれにせよ、企業の方々とヒアリングしながらどういった活用ができるか検討中であるので、お時間をいただきたい。

- 町民：
- ・空き家が増えてくると環境が悪くなり、事件・事故の温床に繋がる。行政と地域住民に温度差があるのでは。事件・事故が起きてから対策を考えるのではなく、何かが起こる前に対策を執る必要がある。空き家バンクが整備されているが、民間企業はそういった情報が良く分からない。個人情報保護の観点で、行政でないと集めることができない。持ち主に了解を得た中で情報開示をしてほしい。
  - ・先日の大阪の地震から、地震時の危険な箇所を事前に調査し把握しておくことが大切。

- 町長：
- ・環境問題については、二酸化炭素排出量の削減が世界的な課題である。再生可能エネルギーについても、国立の原子力研究所があるという本町は一層努力していかないといけないと考えている。
  - ・首都直下型、南海トラフ、房総沖など、大地震の可能性は随所で指摘されている。大地震はすぐ起こるという想いで、危機意識を持って取り組まないといけない。
  - ・側溝の容量の問題や崖地、塀の問題など、総点検をして、取り組

みを強めていきたい。

- ・町民の皆さまもそれぞれが危機意識をもって普段から災害時の備えをしておくことが大事である。

- 町民：
- ・大貫小学校で昨年土器の搬入・展示を手伝ったが、展示会の規模が思っていたより小さかった。まだ素晴らしい土器がある。大貫小学校も一部耐震工事をして、しまっている土器を展示することはできないか。
  - ・神社参拝者の案内をしているが、お客様から神社の休憩所について、「何もない・何も売っていない」との声をいただいた。ボランティアで何かできないかとの話になったが、設備や活動費の面から限界がある。神社から水族館へ行く方は水族館で買物ができるが、めんたいパークに行かれる方は、そのまま帰ってしまう。神社参拝者も増えてきているので、町の方で神社の敷地内で売店などができないか。

- 町長：
- ・神社参拝者は増えてきたが、確かに売店機能もお茶を飲むところもない。担当にはそういった業をやる方がいないか探すよう指示しているところ。神磯の舞台でも以前お茶等を提供したところ、3～400名に来ていただいた。お正月にも非常に多くの方に来ていただいたが、笠間とは違い、大洗の宮下地区に売店がないという声があった。町が商売をやることはできないので、商工会や観光協会が中心となって取り組んでもらえるようお願いしている。

- 町民：
- ・商店街がシャッター街となってしまう地域が多い一方で、大洗は「ガールズ&パンツァー」の効果で多くのお客様に来ていただいている。アウトレット（シーサイドステーション）を聖地にしてみてもどうか。

- 町長：
- ・非常に多くのガルパンファンの方々に足を運んでいただいている。ただし、平成29年度のマリンタワーの入館者数は平成28年度と比較して減少している。商店街にしても、できるだけ土日でも営業して、お客様に楽しんでもらえる商店街にできないかとお願いしているところ。キャラクターのパネルがあるお店だけではなく、大洗町商店街としてお客様をお迎えする心を持って、観光の町として、観光客が楽しめる環境を作ることが大事。後継者がいない、ガルパンと繋がりがいいお店だと営業してもお客さんが来ない、等の理由で土日休むお店も多い。中には、お店を廃業して、その店舗が空き店舗となっているケースもある。空き店舗を活用したいという方がいれば、1店舗でも2店舗でも開業していただけて活

性化していきたいところだが、なかなか進展しない。ガルパンも後どれくらい続くか分からない面もあり、隆盛しているうちに次のことを考えていかないといけない。

町民： ・防潮堤を使ってイルミネーションができないか。冬にイルミネーションを実施することは多いが、夏にイルミネーションをやっているところは少ない。

町長： ・良き提案として受け止めさせていただいて、可能性を追求していきたい。イルミネーションだけでなく、付帯して出店を出すなど、何かと連動した取組をすることが大事だろう。マリンタワーもイルミネーションを使ったクリスマス会等の取組を検討してみるよう担当に指示しているところ。

20：40閉会